

## JOMF 派遣医師便り (2014. 3)

### ◆ジャカルタ◆

## 腸チフス : Widal Test はあてにならない

### JJC 医療相談室

原 稔

衛生環境が整っていないインドネシアで、腸チフスは注意が必要な疾患の一つです。チフス菌に汚染された食べ物や飲み物を摂取して感染します。経口感染です。そして、糞便に混じって排出され、新たな感染源となります。

主な症状は、発熱。高い熱が続きます。腸管から侵入したチフス菌が、血液中や体中の組織に散らばる、全身性の病気です。放置すると死に至ることがありますが、きちんと治療すれば治ります。

また、腸チフスという名がついていますが、下痢や便秘、腹痛を訴える方は少数です。

デング熱・肝炎・インフルエンザ・マラリア等、熱を出す病気はたくさんあります。それらの病気と腸チフスとを鑑別せねばなりません。診断を確定するには、血液培養等でチフス菌の存在を証明する必要があります。しかし、これには数日かかります。そこで、症状や血液検査などで腸チフスが疑われたならば、確定診断を待たずして治療（抗生物質：腸チフス以外の細菌感染にも有効）を開始します。手遅れにならないためです。

その際、当地では、Widal Test という検査がよく行われますが、その精度は高くありません。偽陽性になる事がよくあります。実際は腸チフスではないのに、腸チフスと判定されてしまうのです。

現地の病院で、Widal Test の結果だけを根拠に「腸チフス」と診断されたならば、それは「腸チフスかもしれない」という意味に受け取ってよいと思います（インドネシア人医師は病名を断定しがちです）。決して確定診断ではありません。

### 補足

「発疹チフス」という病気がありますが、これは「腸チフス」とは全く別の病気です。混同しないよう、ご注意ください。